

「第2回 認知症国際アジア会議 in 加賀」開催計画

1 開催趣旨 加賀市では、平成29年3月に元気な中高年齢者や若い世代の移住を促す加賀市版「生涯活躍のまち」構想及び基本計画を定め、「健康長寿のまちづくり」を進めております。

健康長寿を目指す上で、加齢に伴う疾病である認知症の予防、また、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現は、喫緊の課題であります。

そこで、認知症国際アジア会議を開催し、国内の認知症臨床現場に従事する有識者や、これから本格的に高齢化を迎えるアジア近隣諸国の関係者が、認知症臨床現場の現状、MCI（軽度認知障害）への対応策について議論を重ねることにより、「日本における最先端の認知症予防とケアを学ぶ場」として、加賀市から国内外に情報を発信します。

今後、当市を認知症予防に関する実証研究のフィールドとして、その成果を国際会議の議論に反映するといった一連のサイクルを生み出すとともに、最新の知見を有する研究機関や企業の招致についても働きかけることで、認知症予防とケアの取り組みを推進し、いつまでも安心して暮らし続けられるまちづくりを目指します。

2 主催 認知症国際アジア会議 in 加賀実行委員会

構成員：加賀市長、加賀市医師会会長、山中温泉地域活性化懇話会会長、石川県南加賀保健福祉センター所長、加賀市介護サービス事業者協議会会長、南加賀認知症疾患医療センター所長

3 後援(予定) 内閣府、厚生労働省、石川県、(一社)福祉自治体ユニット (順不同)

4 開催期日 平成31年1月11日(金)～1月12日(土)

5 会場 ホテルアローレ (加賀市柴山町と5-1)

6 日程

1月11日(金) ※11～12日〔参加費1,000円、要事前申し込み〕

(1) 開会セレモニー 10:00～

(2) 日本の高齢者施策(介護保険・新オレンジプラン) 10:30～

大島 一博 厚生労働省老健局長 (敬称略)

(3) 円卓会議

テーマ「認知症と地域社会と生活～認知症になる前の備え～」

【国内】（敬称略、順不同）

- 齋藤 正彦 東京都立松沢病院 院長
栗田 圭一 東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム
研究部長
池田 学 大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学分野教授
小山 善子 金城大学 医療健康学部 特任教授、独立行政法人労働者健康安全機構
石川産業保健総合支援センター 所長
繁田 雅弘 東京慈恵会医科大学附属病院精神神経科/メモリークリニック 教授
玉井 顯 医療法人敦賀温泉病院 認知症疾患医療センター 理事長・院長
三村 将 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 教授・教室主任
山田 正仁 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学(神経
内科学)教授
大田 秀隆 秋田大学 高齢者医療先端研究センター 教授・センター長
西村 幸秀 京都府医師会理事

【国外】（敬称略、順不同）

- ソン チャンウ 韓国 ソウル研究所 都市社会部門 研究員
アサンタチャイ プラサート タイ国立マヒドン大学医学部シリラート病院老年医学科
教授
ツェイ シュウーフアン 台湾 衛生福利部 護理及健康照護司(看護・保健部門)
司長
ニエ チー ミン シンガポール クォー・テック・パウト病院 老年医学科
医師 (コンサルタント)
チャールズ アレッシ 英国公衆衛生庁 シニアアドバイザー

Part I (日本の取組(東京都、熊本県、京都府) 13:00～

Part II (アジアの高齢者施策(韓国、台湾、タイ、シンガポール) 15:10～

(4) レセプション [参加料 7,000 円・要事前申し込み] 18:00～
会場：ホテルアローレ (柴山町と 5-1)

1 月 12 日(土)

(1) 円卓会議

Part III (英国の取組、全体討論・まとめ) 9:30～

(2) 認知症ケアの先進事例発表 11:10～

佐藤 アキ 熊本県山鹿市福祉部次長

蔭西 操 医療法人社団 長久会 南加賀認知症疾患医療センター
精神保健福祉士

(3) 現場視察 13:10～ (定員制限有)

市内介護事業施設を視察、現地解散

(敬称略、順不同)

7 申込締切日 平成 30 年 11 月 30 日(金)